

Memories of Cartier creations
directed by Tokujin Yoshioka

Story of...

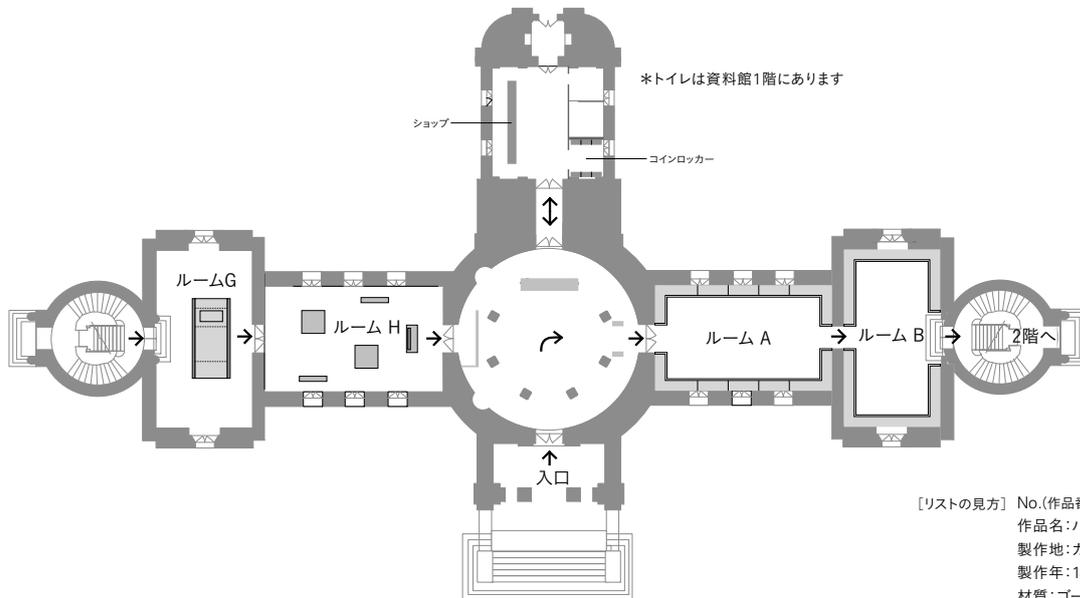
「Story of...」カルティエ クリエイション〜めぐり逢う美の記憶
2009年3月28日〜5月31日 東京国立博物館 表慶館
主催：東京国立博物館、日本経済新聞社 特別協力：カルティエ
監修：吉岡徳仁 後援：フランス大使館
協賛：エグゼク インターナショナル、JTB法人東京、セントラル硝子、
大日本印刷、マックスレイ、山元、ライジングサンセキュリティーサービス

【出品目録】

凡例

- ・出品作品は、特に記述のあるものを除いて、すべてカルティエ コレクションの所蔵である。
- ・作品データは、カルティエおよび所蔵者より提供された資料を翻訳・編集したものである。
- ・作品データは、出品番号、作品名、製作地、製作年、材質、特記事項(所蔵)の順に配列した。
- ・作品番号は、会場内の番号と一致しますが、展示の順序と必ずしも一致しません。

1F



[リストの見方] No.(作品番号):001
作品名:バリュール
製作地:カルティエ パリ
製作年:1850年頃
材質:ゴールド、ファセットをつけた
オーバル シェイプ/ペア シェイプ
アメシスト、ベッコ甲

1階 | ルームA

◎草創期— モントルゲイユ通りからラベ通りへ [no.001-003]

カルティエの伝説は、カルティエがパリのモントルゲイユ街29番地に設立された1847年から、ラベ通りに移転した1899年までの時期に、元宝石職人見習いで、創設者ルイ・フランソワ・カルティエ(1819-1904)と、その息子アルフレッド(1841-1925)によって幕を開けた。

1898年には、アルフレッドの長男ルイ(1875-1942)が弱冠23歳にして父の共同経営者になっている。翌年のラベ通りへの移転を決定する際に、ルイが大きな影響を与えたのは間違いない。様々な国から裕福な常連客が頻繁に行き来するようになって、ラベ通りはたちまち世界でも最も高価な買い物をする客でにぎわうショッピング・ストリートとなった。

ルイは優れた審美眼を備えつつも、ビジネスに対する本能的洞察力を兼ね備えた戦略家でもあった。彼は18世紀のフランス文化を愛し、とりわけ絵画や優雅な装飾美術を高く評価していた。彼は生涯を通じて、類稀な18世紀の美術品や家具を収集し、その趣味はカルティエの将来の創造性に大きな影響をおよぼすこととなった。

001	バリュール	カルティエ パリ	1850年頃	ゴールド、ファセットをつけたオーバル シェイプ/ペア シェイプ アメシスト、ベッコ甲
002	シャトレヌにつけられた エナメル加工のウォッチ	カルティエ パリ	1874年	イエロー/ピンクゴールド、パール、多色エナメル
003	ペンダント ウォッチ	カルティエ	1900年頃	ゴールド、プラチナ、ローズ カット ダイヤモンド、ホワイト エナメル

◎ロシアの影響とエナメル芸術[no.004-013]

1900年のパリ万国博覧会で、ロシア皇帝アレクサンドル3世とニコライ2世から皇后マリア・フォードロヴナへの贈り物であったインペリアル・イースター・エッグ15個を、カール・ピーター・ファベルジェが展示して訪問客を驚嘆させた。この素晴らしい宝石を愛でる多くの人々のなかに、ルイとピエール・カルティエ(1878-1964)も含まれていた。

ルイとピエールは、ルイ16世のスタイルで作られたファベルジェ・クロックや、装飾的な美術品、額縁、アクセサリーなど、そのまばゆいばかりのエナメル細工に触発され、こうした作品を18世紀的な趣向で製作するという試みに挑むことになる。

ロシアの顧客から良い評判を得たことで、カルティエはその後に、繊細なギョシェ技法を凝らしたエナメル細工や装飾を特徴とする、アクセサリーや時計、腕時計のシリーズを展開する。ファベルジェほど多数の色を活用することはなかったものの、カルティエは、緑と紫など新しい色彩の組み合わせを精力的に開発した。カルティエはさらに、「objects of vertu(「美術品」の意)」と呼ばれる、半貴石でできた花や動物を象った作品[curios]の販売を開始した。こうした作品にはファベルジェの作品群と同じサプライヤーを使った。これらの作品がラベ通りの店舗に登場すると、たちまちパリや国外の顧客の好評を博することとなる。

004	立っているブルドッグの彫刻	カルティエ	1912年頃	彫刻を施した瑪瑙、ゴールド、パール、オリヴァイン(目)
005	犬の彫刻	カルティエ	1904年頃	彫刻を施したスモーキー クォーツ、ゴールド、サファイア、パロック パール1粒(カラー)、オリヴァイン(目)
006	座っているブルドッグの彫刻	カルティエ	1907年頃	彫刻を施したスモーキー クォーツ、ゴールド、ローズ カット ダイヤモンド(目)
007	座っているブタの彫刻	カルティエ	1905年頃	彫刻を施したロードナイト、ゴールド、ローズ カット ダイヤモンド(目)
008	止まり木の上のつがいの 硬石製セキセイインコ	カルティエ パリ	1910年頃	彫刻を施した硬石ローズ クォーツ(土台)、ローズ カット ダイヤモンド(目)、 ゴールド、象牙(止まり木)
009	「トノー」リストウォッチ	カルティエ パリ	1911年	ゴールド、サファイア カボション、レザー ストラップ
010	「ジェットン」ウォッチ	カルティエ パリ	1908年	ゴールド、サファイア カボション6個、ホホワイト エナメル
011	ペンダント ウォッチ	カルティエ パリ	1908年	プラチナ、ゴールド、ローズ カット ダイヤモンド、ローズ カット ルビー、カボ ション カット ルビー、カリブレ カット ルビー、ギョシェ地に半透明の鉄灰色 のエナメル
012	ネックレスに取りつけられた ボール型ウォッチ	カルティエ パリ	1905年	プラチナ、ゴールド、パール、ローズ カット ダイヤモンド、ギョシェ地に半透明 のピンク エナメル、ホホワイト エナメル
013	インクスタンドの上のクロック	カルティエ パリ	1908年	ゴールド、シルバー、銀メッキ、サファイア カボション、ローズ カット ダイヤモン ド、ホホワイト エナメルの飾り縁のあるシルバーのギョシェ地に半透明のグレー /モープ/パールモープ/グリーン エナメル

◎ガーランド・スタイルとプラチナ加工技術の卓越[no.014-026]

ラベ通りへの社屋の移転は、新しい宝石のスタイル—プラチナを土台とするセッティング—への移行と時を同じくしていた。カルティエはパリで最高のプラチナを保有しているとの評判を得ており、18世紀のスタイルである重々しい金や銀の土台を、さびない金属のきらめく糸状のものへと変えるという、革新的な変化を実現している。ルイ15世とルイ16世のスタイルは、つばみや花輪、花冠や花瓶などに溢れている。

ルイ・カルティエはしばしばデザイナーたちに、スケッチブック片手にパリの内外を散歩して、17-18世紀の建築のディテールを記録するようにと促していた。プラチナの強靭さと可鍛性によって、例えば、デコルテのラインにぴったり沿い、人の体のあらゆる動きにフィットするような当時の流行を捉えたネックレスやコサージュなどの飾りを作り出すなど、宝石職人たちはあらゆる種類の大胆なデザインを生み出すことが可能になった。こうしたジュエリー類の特徴のひとつとして、ビーズ調あるいは「ミルグレイン」のセッティングがあげられる。これは、プラチナに規則正しく作られたくぼみにダイヤモンドが精細にマウントされて、小さな真珠のように見せかけているものである。この“金属であることを忘れさせるような”セッティングによって、ジュエリーは一層洗練された雰囲気を出している。

014	「スクロール」ティアラ	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1902年	シルバー、ゴールド、クッション シェイプ/ラウンド オールドカット/ローズ カット ダイヤモンド、ミルグレイン セッティング
015	ペンダント	カルティエ パリ	1905年頃	ゴールド、シルバー、ラウンド オールドカット ダイヤモンド
016	ヘア オーナメント	カルティエ パリ	1902年	プラチナ、オールドカット/ローズ カット ダイヤモンド、ミルグレイン セッ ティング
017	ティアラ	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1905年	プラチナ、ペア シェイプ ダイヤモンド7個(計約17カラット)、オールド カット /ローズカット ダイヤモンド、ミルグレイン セッティング
018	ペンダント	カルティエ パリ	1912年	プラチナ、ラウンド オールドカット/ローズ カット ダイヤモンド、カボション カット スターサファイア2個(13.45カラットと1.98カラット)、ラウンド天然パー ルのペンダント、彫刻を施したロック クリスタル、ミルグレイン セッティング
019	ガーランド スタイル ティアラ (モイ伯爵夫人のティアラ)	カルティエ パリ	1909年頃	プラチナ、ダイヤモンド *個人蔵(協力:アルピオンアート・ジュエリー・インスティテュート)

020	「レース リボン」ブローチ	カルティエ バリ	1906年	ブラチナ、ゴールド、クッション シェイブ/マークス カット/ラウンド オールドカット/ローズ カット ダイヤモンド、ミルグレイン セッティング、コレット セッティング
021	ドレープ ブローチ	カルティエ バリ	1913年頃	ブラチナ、ダイヤモンド *個人蔵(協力:アルピオンアート・ジュエリー・インスティテュート)
022	「メドゥーサの頭」ペンダント	カルティエ バリ	1906年	ブラチナ、ゴールド、ラウンド オールドカット/ローズ カット ダイヤモンド、天然パール、ティアドロップ シェイブ ピンクコーラルのカメオのペンダント ヘッド、グリーン/ホワイト エナメル、ミルグレイン セッティング
023	リング	カルティエ ロンドン	1920年	ブラチナ、クッション シェイブ サファイア1個 18.87カラット、ラウンド オールドカット/シングル カット ダイヤモンド
024	ブローチ ペンダント	カルティエ バリ スペシャル オーダー	1913年	ブラチナ、ゴールド、クッション シェイブ サファイア5個(計39.66カラット)、ファセットをつけたサファイアとカリブレ カット サファイア、ラウンド オールドカット ダイヤモンド、ミルグレイン セッティング、コレット セッティング
025	スタマッカー(胸飾り) ブローチ	カルティエ バリ スペシャル オーダー	1907年	ブラチナ、ペア シェイブ サファイア1個、クッション シェイブ サファイア7個、ラウンドオールドカット/ローズ カット ダイヤモンド/サファイア(計約51カラット)
026	ネックレス	カルティエ バリ スペシャル オーダー	1911年	ブラチナ、ラウンド オールドカット/ローズ カット ダイヤモンド、天然パール、ミルグレイン セッティング、中央のピンク グレー ペア シェイブ パール約107.60グレイン、上のピンク グレー パール約88.16グレイン、3つのグレー ペア シェイブ パール各64.28/59.48/55.92グレイン、下のグレー ラウンドパール12.5グレイン

◎モダン・スタイルの先駆者として[no.027-033].....

ルイ・カルティエはデザイナーたちに、よりモダンな美へのアプローチを行うよう、日々努力することを求めている。当時の一部の画家たちが新しい芸術の形を予見していたように、カルティエはのちに現代装飾美術・産業美術国際博覧会にちなんで「アール・デコ」と呼ばれることになる、真にモダンなスタイルの先駆者となった。

芸術の世界には大変革が訪れていた。1907年にピカソは《アヴィニョンの娘たち》を発表。そして1909年は芸術面における大きな出来事によって記憶されている年でもある。この年、セルゲイ・ディアギレフ率いるバレエ・リュスが、スターダンサーであるヴァーツラフ・ニジンスキーとタマラ・カルサピナを起用したシャトレ劇場における興行で大成功を収めた。セットで利用されていた、オレンジと黄色を組み合わせ、青地に緑を配し、水色の隣に青色を置き、ピンクと紫の背景に赤を持ってくる、というような強烈な色彩は、ルイ・カルティエとそのデザイナー、シャルル・ジャコーを魅了した。こうしたきらびやかな色彩の配置は、エメラルドとサファイア、そしてアメシストとルビー、翡翠などを組み合わせる可能性を示唆していた。バレエ・リュスがこうした大胆な色の組み合わせを実現する起爆剤になったのは事実ではあるものの、色の組み合わせ自体はカルティエにとって未知のものであったわけではない。カルティエは1903年という早い時期に、中国と日本文化からヒントを得て、すでにサファイアとアメシスト、あるいはアメシストとルビーを組み合わせたペンダントを製作している。

027	ライン プレスレット	カルティエ バリ	1907年	ゴールド、ブラチナ、ラウンド オールドカット ダイヤモンド、ファセットをつけたカリブレ カット ルビー、天然パール
028	ブローチ	カルティエ バリ	1909年	ブラチナ、ゴールド、ラウンド オールドカット ダイヤモンド、スクエア ファセットをつけたカリブレ カット ルビー、ミルグレイン セッティング
029	「日本風のノット(結び目)」ブローチ	カルティエ バリ	1907年	ブラチナ、ゴールド、ローズ カット ダイヤモンド、ラウンド ファセットをつけたカリブレ カット ルビー
030	ブローチ	カルティエ バリ	1907年	ブラチナ、ラウンド オールドカット/ローズ カット ダイヤモンド、ミルグレイン セッティング
031	ブローチ	カルティエ バリ	1906年	ブラチナ、ゴールド、ラウンド オールドカット ダイヤモンド、ラウンド ファセットをつけたサファイア1個、ファセットをつけたカリブレ カット サファイア、ミルグレイン セッティング、チャンネル セッティング
032	ブローチ	カルティエ バリ	1908年	ブラチナ、カリブレ カット サファイア、シングル カット ダイヤモンド、天然パール
033	ブローチ ペンダント	カルティエ バリ	1912年	ブラチナ、ゴールド、ラウンド オールドカット/シングル カット ダイヤモンド、サファイア カボション3個(うち1個は菱形、28.70カラット)、ファセットをつけたカリブレ カット サファイア

◎コントラストと色の組み合わせ [no.034-037,041-043,048-053].....

第二次大戦前の時期は、カルティエが以後好んで使うようになる素材—オニキス—の使用が盛んになったことが特筆される時期である。びかびかに磨き上げられた真っ黒なオニキスはダイヤモンドを際立たせ、宝石や腕時計の輪郭を映えさせた。オニキスはダイヤモンドと組み合わせられたのみならず、その他の貴石類、なかでも特にサンゴと組み合わせられることが多かった。オニキスはデザインの違いを際立たせるのみならず、宝石それぞれの個性をも際立た

せていた。時には、立体視的な錯覚を生む、影のような効果をもたらすために利用されることもあった。

サンゴもまた、カルティエが選好した素材のひとつとなり、なかでも色の濃いサンゴが多く使われた。こうしたサンゴは濃い緑色のエメラルドと組み合わせられて、オリジナル性の高いジュエリーが製作された。サンゴはオリエンタリズムの影響を色濃く受けたデザインでもふんだんに使われた。

また、ラピスラズリとトルコ石も、青色の微妙な調和を生み出すために組み合わせられて使われた。

ルイ・カルティエお気に入りの色の組み合わせのひとつに、青と緑があった。しかし、最も重要視された宝石の組み合わせは、サファイアとエメラルドの組み合わせであった。121カラットのカボション・カットのサファイアで作り上げられた格調高いペンダントは、その磨かれ、彫刻を施された表面により繊細な演出を施され、見事な組み合わせの美しさを見せている。

034	「エジプト」スタイル ペンダント	カルティエ バリ	1913年	ブラチナ、トライアングル カット/ペア シェイプ カット/ラウンド オールドカット/シングル カット/ローズ カット ダイヤモンド、カリブレ カット/ファンシー カット オニキス、ミルグレイン セッティング
035	ティアラ	カルティエ バリ	1914年	ブラチナ、ラウンド オールドカット ダイヤモンド、天然パール15個、パターン化された木のモチーフのオニキス、ブラック エナメル
036	「フルーツ ボウル」ブローチ	カルティエ バリ	1914年	ゴールド、カボション カット ルビー、ファセットをつけたカリブレ カット ルビー、カボション カット エメラルド、カボション カット オニキス1個、オニキス (ボウル)
037	ブローチ	カルティエ バリ	1913年	ブラチナ、ラウンド オールドカット ダイヤモンド、多角形のエメラルド1個(計 11.90カラット)、カボション カット/ドロップ シェイプ エメラルド、天然パール、オニキス

◎初のミステリークロック「モデルA」[no.038].....

カルティエの初のミステリークロックである「モデルA」と呼ばれるクラシックな幾何学模様のモデルは、カルティエと、その才能溢れる若き時計職人モリス・クエエによって1912年以降製作されるようになった。展示されている「モデルA」は1914年に製作されたものである。これらのモデルがミステリアスと称されるのは、ダイヤモンドをセットしたプラチナ製の時計の針が、透明な水晶の真ん中にただ浮かんでいるように見えるだけで、機械のムーブメントと一切連結されていないように見えるからである。時計の針はそれぞれ、平らな水晶の円盤の上にセットされて、裏には鋸歯状の刃が隠れている。時計の側面には垂直に歯車がふたつ隠れて搭載されていて、そこで歯のついた円盤を駆動させている。歯車自体は、土台のなかにあるムーブメントによって駆動させられている。ミステリークロックの生産数は少ないものの、現代までも続けて製作されている。

038	「モデルA」ミステリー クロック	カルティエ バリ	1914年	ブラチナ、ゴールド、ロック クリスタル、瑪瑙(土台)、カボション カット サファイア4個、ローズ カット ダイヤモンド、ホホワイト エナメル
-----	------------------	----------	-------	--

◎時代を超えた最高傑作と腕時計製作の進化[no.039-040,044-047,054-071].....

時計はカルティエの作品群のなかでも大きな役割を果たすようになった。ルイ・カルティエの明確なビジョンにより、カルティエは時計と腕時計製作の舞台に華々しく踊り出ることになる。ルイは、カルティエが独自の時計を製作すること、そして何よりもその人気と売れ行きを予見していた腕時計のコンセプトを発展させることを希望していた。

1904年には、ルイの友人で、飛行家であり流行のリーダーでもあったアルベルト・サントス-デュモンのために世界初の近代式の腕時計がデザインされている。サントス-デュモンは伝統的な懐中時計よりも実用的な時計を探していたのだった。サントスと名付けられたこの腕時計は、アタッチメントが内側にまとめられ、ガラス面(ベゼル)がねじで固定されるなど、そのモダンなデザインは、時計製作という芸術において、時代を超えた最高傑作となっている。

1906年には、手首の形に添った、丸みを帯びた形が特徴的な腕時計「トノー」がデザインされている。1907年には、ルイ・カルティエが、当時でも最も腕のある腕時計職人であり、カルティエがすでに10年以上にも渡ってともに製作を行っていたエドモン・ジャガーとの間で独占契約を締結して、腕時計の発展はさらにカルティエの下に集約されることになる。

1925年になると、ジャガーの工房は革新的なムーブメントを開発する。このムーブメントでは、様々なムーブメントがふたつの平面上に互いに重なるように配置されて、全体の幅をぐっと狭めることが可能になった。この発明のおかげで、カルティエは1926年に腕時計「バゲット」のデザインを製作した。1929年には、ジャガーは今日に至るまで世界最小の機械式ムーブメントである、重量1グラム未満の「キャリバー101」を発表し、この飛躍的な小型化は時計製作のすべての面に影響を及ぼした。1931年に、その割高なコストのためにミステリークロックの生産数が減少すると、カルティエはジャガーに対して、同じ精巧なシステムを用いた懐中時計の製作を依頼している。

1937年、カルティエは潜望鏡の原理に基づくミニチュアのプリズム・クロックの特許を取得した。これは、ふたつのプリズムによってミニチュア・クロックの文字盤と針が反射したり屈折したりして、時計を見る角度によって見えたり消えたりするものである。

1928年には、カルティエは、時間と分を音で知らせるミニッツリピーターの仕組みを搭載した「トーチュ」や、シングルボタン・クロノグラフの「トーチュ」、そして1931年以降は非常に珍しい8日巻の「タンク」などの、類稀な腕時計のコレクションを発表している。

男性的なエレガンスは、貴金属のアクセサリーにおいても優れていた。カルティエは顧客の注文を受けてシガレットケース、ペンなどの小物を貴金属で製作し、なかには上品なピクニック用のシルバーのカトラリー・セットやタンブラーなどもあった。

039	「トーチ」リストウォッチ	カルティエ パリ	1919年	ブラチナ、サファイア カボション、レザー ストラップ
040	「タンク L.C.」リストウォッチ	カルティエ	1925年	ブラチナ、ホワイトゴールド、サファイア カボション、レザー ストラップ
041	パンテール模様のヴァニティ ケース	カルティエ パリ	1928年	イエロー/ピンクゴールド、ブラチナ、バゲット カット/ローズ カット ダイヤモンド、彫刻を施したエメラルドとカレ カット エメラルド、カリブレ カット ルビー、ブラック エナメル
042	「タイガー」ブローチ	カルティエ パリ	1929年	ブラチナ、シングル カット ダイヤモンド、ファンシー カット オニキス(縞模様)
043	パンテール柄のブローチ ウォッチ	カルティエ パリ	1915年	ブラチナ、ペア シェイプ ダイヤモンド3個、オールドカット ダイヤモンド、裏面にオニキス(斑点)、ブラックコード2本
044	フォトフレーム付クロック (回転式時間表示)	カルティエ	1919年	ゴールド、金メッキを施したメタル、ラベンダーブルー/ホワイト エナメル、エボナイト
045	フォトフレーム付クロック (回転式時間表示)	カルティエ パリ	1922年	ゴールド、金メッキを施したメタル、エボナイト、ベークライト、ブルー/ホワイト エナメル
046	デイ アンド ナイト「コメット」クロック	カルティエ パリ	1913年	ゴールド、ブラチナ、銀メッキを施したメタル、ローズ カット ダイヤモンド、ロック クリスタル、半透明のペリウィンクル(ツルニチニチソウ)ブルー/ホワイト エナメル
047	シングル アクセル ミステリー クロック	カルティエ パリ	1922年	ブラチナ、ゴールド、ロック クリスタル、オニキス、ローズ カット ダイヤモンド、ターコイズブルー/ブラック エナメル
048	ペンダント	カルティエ ロンドン	1920年	ブラチナ、クッション シェイプ ダイヤモンド1個、ラウンド オールドカット/シングル カット/ローズ カット ダイヤモンド、カリブレ カット/ファンシー カット サファイア、ロック クリスタル(水)、ムーンストーン(花瓶)、カリブレ カット オニキス
049	ブレスレット	カルティエ ニューヨーク	1926年	ブラチナ、ゴールド、ラウンド オールドカット/シングル カット ダイヤモンド、コレット セット ダイヤモンド、ルビー ビーズ、ロック クリスタル(輪と花瓶)、オニキス(リンク)、ブラック エナメル
050	「ポンポン」ペンダント ウォッチ	カルティエ パリ	1925年	ブラチナ、ゴールド、エメラルド ビーズ、オールドカット/シングル カット/ローズ カット ダイヤモンド、ブルー/ブラック/ホワイト エナメル、パール、ラピスラズリ
051	「フルーツ ボウル」ブローチ	カルティエ パリ	1925年	ブラチナ、ゴールド、ペア シェイプ/ローザンジュ シェイプ/スクエア シングル カット/バゲット カット ダイヤモンド、カボション カット エメラルド1個、カボション カット ルビー2個、縦溝彫りを施したオニキス、ブラック エナメル
052	ブローチ	カルティエ パリ	1922年	ブラチナ、ラウンド オールドカット/シングル カット/ローズ カット ダイヤモンド、ペア シェイプ/スクエア エメラルド、カボション カット エメラルド、エメラルド ビーズ(うち1個は縦溝彫り、残りは彫刻が施されている)、カリブレ カット オニキス
053	ペンダント イヤリング	カルティエ パリが カルティエ ニュー ヨークのために製作	1919年	ブラチナ、ゴールド、ラウンド オールドカット/シングル カット ダイヤモンド、ペア シェイプ イエロー サファイア2個(5.69カラットと7.46カラット)、天然パール、オニキス(花冠)、ブラック エナメル、吊り下げられたダイヤモンドは“ミュゲ(すずらん)”セッティング
054	「エクリプス」ポケット ウォッチ	カルティエ ニューヨーク	1929年	ゴールド、ブラック エナメル
055	折りたたみダイヤル式デスク クロック	カルティエ ロンドン	1928年	ゴールド、オニキス(土台)、サファイア カボション、ブラック/ブルーエナメル
056	スタンドカバー式ウォッチ	カルティエ	1929年	ゴールド、サファイア カボション、ブラック エナメル
057	「エクリプス」パース ウォッチ	カルティエ パリ	1928年	ゴールド、サファイア カボション、ブラック エナメル
058	バネ式 パース ウォッチ	カルティエ パリ	1929年	ブラチナ、ゴールド、ローズ カット ダイヤモンド、サファイア カボション、ブラック エナメル
059	スライドスタンド式カバー付の8デイ ウォッチ	カルティエ パリ	1931年	ゴールド
060	「タンク ア ギシェ」リストウォッチ	カルティエ パリ	1928年	イエロー/ピンクゴールド、レザー ストラップ
061	「トーチ」シングルボタン クロノグラフ リストウォッチ	カルティエ ニューヨーク	1929年	ゴールド、レザー ストラップ
062	「トーチ」ミニッツ リピーター リスト ウォッチ	カルティエ パリ	1928年	ゴールド、レザー ストラップ
063	ミステリー ポケット ウォッチ	カルティエ パリ	1931年	ブラチナ、クリスタル、ブラック エナメル
064	「バゲット」ブレスレット ウォッチ	カルティエ パリ	1932年	ブラチナ、ピンクゴールド、トライアングラー カボション カット ルビー
065	シースルーバックのポケット ウォッチ	カルティエ パリ	1927年	ブラチナ、ロック クリスタル、ローズ カット ダイヤモンド
066	「タンク」リストウォッチ	カルティエ パリ	1934年	ブラチナ、ピンクゴールド、サファイア カボション
067	「タンク サントレ」リストウォッチ	カルティエ パリ	1924年	ブラチナ、ピンクゴールド、サファイア カボション、レザー ストラップ
068	シガレット ケース	カルティエ パリ	1912年	ゴールド、ピンクゴールド、シルバー、サファイア カボション

069	シガレット ケース	カルティエ パリ	1922年	ゴールド、ブラック エナメル
070	万年筆	カルティエ パリ	1934年	ゴールド、ブラック エナメル
071	ピクニック セット	カルティエ パリ	1928年	シルバー、象牙、レザー
072	「スネーク」ネックレス	カルティエ パリ	1919年	プラチナ、ラウンド オールドカット ダイヤモンド、ミルグレイン セッティング

1階 | ルームB

◎エジプトの影響 [no.073-078]

1922年にハワード・カーターによるツタンカーメン王の墓の発見は、研究者のみならず全世界からも大きな注目を集めた。エジプトは再び、美術、ファッション、文学、そして映画のインスピレーションの源となった。

当時のカルティエは、アンティークの要素を用いることをその特徴のひとつとしていた。エジプトのアンティークの断片がブローチ「スカラベ」や、ブローチ「セクメト」、そして方解石(カルサイト)の飾り額を利用した装飾を施したヴァニティケースなどに盛り込まれた。

ルイ・カルティエはこうしたアンティークを専門とするディーラーからこれらの断片を入手して、ふたつとない宝石が完成したため、こうした宝石類の魅力が際立される結果となった。この大きなエジプト風時計にはアンティークそのものは利用されていないものの、真珠母貝に刻まれた象形文字は厳密に複製されたものである。

073	「スカラベ」ブローチ	カルティエ ロンドン	1924年	ゴールド、プラチナ、ラウンド オールドカット ダイヤモンド、カボション カットエメラルド、スモーキー クォーツ(スカラベ)、ブルーのエジプト ファイアンス(羽根)、ブラック エナメル
074	「ホルス」ブローチ	カルティエ パリ	1925年	プラチナ、ゴールド、ラウンド オールドカット/シングル カット ダイヤモンド、カボション カット エメラルド1個、ロッド状のカボション カット コーラル、オニキス スタッドとカボション カット オニキス、ブルー エジプト ファイアンス、ブラック/レッド エナメル
075	「ハスの花の神」ブローチ	カルティエ パリがカルティエ ニューヨークのために製作、スペシャルオーダー	1927年	プラチナ、ゴールド、ラウンド オールドカット ダイヤモンド、カボション カットエメラルド/ルビー、カボション カット/カリブレ カット オニキス、ブルー エジプト ファイアンス、ブラック/トランスルーセント グリーン エナメル
076	「エジプトのサルコファガス」ヴァニティ ケース	カルティエ パリ	1925年	イエロー/ピンクゴールド、プラチナ、ローズ カット ダイヤモンド、エメラルド、カリブレ バフトップ カット サファイア、骨に彫刻を施した蓋、サフランカラー/ブルー/アイボリーカラー エナメル
077	ヴァニティ ケース	カルティエ パリ	1927年	ゴールド、プラチナ、エジプト カルサイト(方解石)の飾り額、カボション カットエメラルド、ローズ カット ダイヤモンド、コーラル、ラピスラズリ、ターコイズブルー エナメル
078	エジプシャン ヴァニティ ケース	カルティエ パリ	1924年	ゴールド、プラチナ、象形文字の彫られたマザー オブ パール、コーラル、ラピスラズリ、オニキス、ブルー エジプト ファイアンス、ローズ カット ダイヤモンド、ブラック エナメル

◎東洋の影響—ペルシャとインド [no.079-102]

1910年以降、カルティエの作品の一部、なかでも貴石がセットされたものは、イスラム教ペルシャやインドの芸術など異国情緒豊かな伝統からの影響を色濃く受けている。ペルシャ世界からの影響は「アラブ風の背景効果」を利用したブローチ(no.081)などでも見受けられる。

カルティエのジュエリーに最も強い影響力をおよぼしたのがインドである。1911年にジャック・カルティエはインドを旅して、マハラジャたちがペルシャの宝石や腕時計にしか興味を抱いていないことに気づいた。マハラジャたちは古い宝石を新しい作品へと作り変えていった。こうしたマハラジャたちとの交流を通じて、ジャック・カルティエがのちに壮麗なインド風のパリュールを生み出す想像の源となる種が蒔かれたのだった。

古代インドの技術で工夫を凝らして彫刻を施された宝石類は、1925年製作の合計600カラット以上にも達するソートワールの傑作に見られるように、カルティエが新しいタイプのジュエリーを生み出す可能性をももたらした。しかしながら、こうした彫刻を施された宝石類は最終的にはのちに「トゥッティ フルッティ」の名で知られることになる、複数種類の宝石をセットしたジュエリーへと進化を遂げる。この時期でも最も象徴的な作品は、1936年製作のネックレスである。このネックレスは、もともと紐により括られるマハラジャのネックレスとして考え出され、彫刻を施された大きなサファイアが2粒中央に置かれていた。その後、数回のリメイクを経て現在の形状に至っている。この作品は、世界でも最も優雅な女性のひとり、デージー・フェロウズが製作を依頼したものである。

079	ヴァニティ ケース	カルティエ パリ	1924年	ゴールド、プラチナ、ローズ カット ダイヤモンド、彫刻を施したエメラルド、カボション カット エメラルド、ターコイズ、マザー オブ パール、天然パール、ブラック/アイボリーカラー エナメル
-----	-----------	----------	-------	--

080	ブローチ ペンダント	カルティエ パリ	1919年	ブラチナ、シングル カット/ローズ カット ダイヤモンド、サファイア カボション、天然パール1個、カボション カット ターコイズ、蝶番でつながれた翡翠の飾り版9枚
081	ブローチ	カルティエ パリ	1913年	ブラチナ、ラウンド オールドカット/シングル カット ダイヤモンド、ミルグレイン セッティング
082	ヘアバンド	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1923年	ブラチナ、クッション シェイブ/ラウンド オールドカット ダイヤモンド
083	ストラップ プレスレット	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1926年	ブラチナ、ベア シェイブ/ラウンド オールドカット ダイヤモンド
084	ブローチ	カルティエ パリ	1924年	ブラチナ、ゴールド、ラウンド オールドカット/シングル カット ダイヤモンド、サファイア カボション1個 約57.60カラット、つや消し加工されたロック クリスタル、パール、マザー オブ パール、ブラック エナメル
085	香水瓶	カルティエ	1925年頃	彫刻を施したエメラルド(計184.46カラット)
086	ジャポピン	カルティエ ロンドン	1924年	ブラチナ、ホワイトゴールド、ラウンド オールドカット/シングル カット ダイヤモンド、彫刻を施したエメラルド2個(30.82カラットと3.78カラット)、スクエア カット/ファンシー カット/ファセットをつけたカリブレ カット エメラルド
087	シール ペンダント ウォッチ	カルティエ パリ	1923年	ブラチナ、ゴールド、ブラック エナメル、シングル カット/ローズ カット/ブリリアント カット ダイヤモンド、オニキス、パール、ペンダントに17.61カラットのエメラルド ビーズ、本体ケースに彫刻を施した44.15カラットのエメラルド
088	「トゥッティ フルッティ バゲット」 リスト ウォッチ	カルティエ パリ	1928年	ブラチナ、イエロー/ピンクゴールド、彫刻を施したエメラルド/サファイア/ルビー、バゲット カット/トライアングル カット/スクエア カット/マーキス カット/シングル カット ダイヤモンド、ブラック エナメル、紐が二重になったストラップ
089	「トゥッティ フルッティ」 イブニング バッグ	カルティエ ニューヨーク	1930年	ゴールド、ブラチナ、ルビー/サファイア/エメラルド ビーズ、彫刻を施した木の葉型のルビー/サファイア/エメラルド、ブリリアント カット/オールド ヨーロピアン カット/シングル カット ダイヤモンド、天然パール、アイボリーカラー エナメル
090	「トゥッティ フルッティ」 ストラップ プレスレット	カルティエ ニューヨーク スペシャル オーダー	1928年	ブラチナ、ブリリアント カット/ラウンド オールドカット/シングル カット ダイヤモンド、彫刻を施した木の葉型のルビー、カボション カット ルビー、コレット セットされたダイヤモンドが載せられた、エメラルド ビーズ、サファイア ビーズ、ブラック エナメル
091	「トゥッティ フルッティ」 プレスレット ウォッチ	カルティエ パリ	1929年	ブラチナ、クリスタル、7.05カラットのテーブル カット エメラルド1個、カボション カット エメラルド/サファイア、彫刻を施したエメラルド、彫刻を施した木の葉型のサファイア/ルビー、バゲット カット/コレット セット ダイヤモンド
092	ベア クリップ ブローチ	カルティエ ニューヨーク	1929年	ブラチナ、14K ホワイト ゴールド、ブリリアント カット/ラウンド オールドカット/シングル カット ダイヤモンド、彫刻を施した木の葉型のルビー、カボション カット ルビー、ルビー ビーズ、コレット セット ダイヤモンドが載せられたエメラルド ビーズ、ブラック エナメル
093	「ツリー」ブローチ	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1927年	ブラチナ、ゴールド、ラウンド オールドカット/シングル カット ダイヤモンド、彫刻を施したエメラルド、バゲット カット/ベア シェイブ/バフトップ カット/カボション カット サファイア、彫刻を施したルビー、バフトップ カット/カボション カット ルビー、ブラック エナメル
094	ネックレス	カルティエ ロンドン スペシャル オーダー	1932年	ブラチナ、ラウンド オールドカット/ローズ カット ダイヤモンド、クッション シェイブ エメラルド(143.23カラット)
095	「バズバンド」プレスレット	カルティエ パリがカル ティエ ロンドンのために 製作、スペシャル オーダー	1922年	ブラチナ、オールドカット ダイヤモンド
096	「インド」スタイルの ベア クリップ ブローチ	カルティエ ロンドン	1939年	ゴールド、ポートレイト ダイヤモンド、カボション カット ルビー/エメラルド、天然パール
097	ブローチ	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1925年	ゴールド、ブラチナ、オールドカット/ローズ カット ダイヤモンド、クッション シェイブ ルビー、ファセットをつけた環状のルビー、天然パール、ロック クリスタル、ブラック エナメル
098	「インド」スタイル クリップ ブローチ	カルティエ パリ	1938年	ゴールド、ポートレイト ダイヤモンド、ファセットをつけたサファイア、カボション カット ルビー/エメラルド、ラウンド シェイブ/バロック シェイブ 天然パール、カボション カット ターコイズ、ターコイズ ビーズ、レッド/グリーン エナメル
099	「インド」スタイル ペンダント ネックレス	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1928年	ゴールド、ポートレイト ダイヤモンド、スクエア ダイヤモンド1個、ローズ カット ダイヤモンド1個、カボション カット ルビー1個、彫刻を施したルビー、彫刻を施したエメラルド、エメラルド ビーズ1個、シード パール、ドロップシェイブ パール1個、彫刻を施し表面に宝石を散りばめた白翡翠、様々な色のエナメル
100	「インド」スタイル プレスレット	カルティエ ロンドン スペシャル オーダー	1939年	イエロー/ホワイトゴールド、ブラチナ、ブリリアント カット/シングル カット ダイヤモンド、天然パール

101	支柱付重力振り子時計	カルティエ パリ	1927年	ゴールド、ラピスラズリ、マラカイト、カーネリアン、カボション カット ターコイズ/エメラルド、マザー オブ パール、コーラル、ローズ カット ダイヤモンド、ブルー エナメル
102	ティアラ	カルティエ ロンドン スペシャル オーダー	1936年	ブラチナ、オールド カット/シングル カット ダイヤモンド、彫刻を施したターコイズ

◎東洋の影響 — 極東アジア [no.103-106, 122].....

ヨーロッパとアジアとの間の交流は、人類の歴史のなかでも最も魅力的な1ページである。この極東地域からの影響により、カルティエは時計、ヴァニティケース、香水瓶、装飾品やジュエリーなど、卓越した芸術作品を生み出している。アール・デコの時期は、ヴァニティケースやシガレットケース、そしてテーブルボックスの絶頂期であった。それぞれの作品の大きさの違いにより、デザイナーたちはかなり自由に作品を製作することができた。一部のヴァニティケースは中国、琉球諸島、そして日本から輸入された螺鈿漆器により装飾されていた。

ジュエリー作品の製作にはアンティークの翡翠が利用された。たとえば、向かい合う龍を象った、18世紀もしくは19世紀の中国の帯留をもとに製作されたブローチなどがその例としてあげられる。中国産の翡翠を利用することで、アール・デコの美的感覚を象徴する新しいタイプの半貴石を使ったジュエリーが誕生した。ダイヤモンドを用いた宝石は、中国版の「キメラ」である麒麟や、中国の道教で使われる太極拳の陰陽のシンボルを取り入れた独特で珍しいペンダントなど、中国風のモチーフや記号にヒントを得たものが多く製作された。

103	「陰陽」ペンダント	カルティエ パリ	1919年	ブラチナ、ゴールド、ラウンド オールドカット/シングル カット/ローズ カット ダイヤモンド、穴の開けられたエメラルド ビーズ2個、カリブレ カット/カボション カット コレット セット ルビー、ループにエメラルド1個、ルビー4個、バフトップ カット オニキス4個、オニキス、クラスプにブラック エナメル
104	「キメラ」プレスレット	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1929年	ブラチナ、ペア シェイプ/ラウンド オールドカット/シングル カット/フレンチ カット ダイヤモンド、サファイア カボション、バフトップ カット サファイア/エメラルド、丸ひだ飾りを施したロック クリスタル(のど部分)
105	ペンダント イヤリング	カルティエ ニューヨーク	1928年	ブラチナ、ゴールド、ラウンド オールドカット/シングル カット ダイヤモンド、仏陀の形に彫刻を施した翡翠、ブラック エナメル
106	「仏塔」ブローチ	カルティエ パリ	1927年	ブラチナ、ファンシー シェイプ バゲット カット ダイヤモンド、トライアングル カット ダイヤモンド2個、ペア シェイプ ダイヤモンド1個
107	ベルト	カルティエ ロンドン	1930年	ゴールド、彫刻を施したコレット セット ルビー21個、彫刻を施した円形の翡翠21個
108	「ドラゴン」ブローチ	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1924年	ゴールド、ブラチナ、ラウンド オールドカット/シングル カット ダイヤモンド、カボション カット サファイア、彫刻を施した翡翠、ブラック エナメル
109	香水瓶	カルティエ パリ	1925年	ゴールド、彫刻を施した翡翠、カボション カット サファイア、ブラック/ブルー エナメル
110	ペンダント	カルティエ パリ	1921年	ブラチナ、彫刻を施した翡翠、カボション カット/カリブレ カット ルビー、ローズ カット ダイヤモンド
111	ヴァニティ ケース	カルティエ パリ	1924年	ゴールド、ブラチナ、マザー オブ パール、ターコイズ、コーラル、ラピスラズリ、マラカイト、アジュールマラカイト、瑪瑙、ローズ カット ダイヤモンド、オニキス、ブラック エナメル
112	ヴァニティ ケース	カルティエ パリ	1928年	ブラチナ、ゴールド、マザー オブ パール、翡翠、コーラル、アベンチュリン クォーツ(インド翡翠)、ターコイズ、オニキス、ローズ カット ダイヤモンド、サファイア カボション、エメラルド、ブラック エナメル
113	ヴァニティ ケース	カルティエ パリ	1928年	ゴールド、ブラチナ、彫刻を施したエメラルド/ルビー/サファイア、オニキス、コーラル、ローズ カット ダイヤモンド、クリーム カラー/ブルー/グリーン エナメル
114	中国の花瓶の装飾付ヴァニティケース ケース	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1926年	ゴールド、ブラチナ、彫刻を施したエメラルド、カボション カット エメラルド、カボション カット サファイア、オニキス、コーラル、シングル カット/ローズ カット ダイヤモンド、レッド/アイボリーカラー/ブラック/グリーン/イエロー エナメル
115	「キメラ」ピン	カルティエ パリ	1923年	ブラチナ、ゴールド、ラウンド オールドカット/シングル カット ダイヤモンド、彫刻を施したエメラルド ビーズ1個、カボション カット/バフトップ カット エメラルド、天然パール1個、彫刻を施したコーラル、カボション カット オニキス、ブラック エナメル
116	シガレット テーブル ボックス	カルティエ パリ	1927年	ゴールド、シルバー、マザー オブ パール、様々な色のポーセリン(磁器)、レッド/ブラック/赤褐色のエナメル、エボナイト

◎具象的なミステリークロック—カルティエの芸術における名作 [no.117-121].....

初期のミステリークロック「モデルA」に見られる厳格さは、のちに“中国風”の影響を受けたミステリークロックにより、自由な雰囲気を得ることになる。なかには、「キメラ」のミステリークロック(no.117)、「象」のミステリークロック(no.119)などのような、非常に珍しい、具象的で中国らしいミステリークロックもあった。こうした具象的なミステリークロックは通常のカルティエの作品群と同様に高い評判を得て、今日ではカルティエのサイン入りコレクター向けアイテムのなかでも、最も価値あるものとみなされている。現在、カルティエ コレクションではこうした素晴らしい作品4点一象のクロック、鯉のクロック(no.118)、観音像のクロック(no.120)、そして「キメラ」のクロックを所蔵している。

117 「キメラ」ミステリー クロック	カルティエ ニューヨーク	1926年	ゴールド、ブラチナ、シトリン(文字盤)、瑪瑙(キメラ)、ネフライト(波)、オニキス、コーラル、ローズ カット ダイヤモンド、パール、エメラルド カボション、レッド/ブラック エナメル
118 逆行型の針付の鯉のクロック	カルティエ バリ	1925年	ブラチナ、ゴールド、グレーの翡翠(鯉)、黒曜石(土台)、ロック クリスタル、マザー オブ パール、パール、コーラル、カボション カット エメラルド、ローズ カット ダイヤモンド、モーブカラー ラッカー、ブラック/ブルー/レッド エナメル
119 エレファント ミステリー クロック	カルティエ バリ	1928年	ブラチナ、ゴールド、翡翠、コーラル、オニキス、クリスタル、マザー オブ パール、パール、ローズ カット ダイヤモンド、ブラック エナメル
120 観音像付の時報を鳴らす時計	カルティエ バリ	1931年	ブラチナ、ゴールド、白翡翠、ロック クリスタル(文字盤)、オニキス(スタンド)、ネフライト(土台)、ローズ カット ダイヤモンド、パール、カボション カット ターコイズ、コーラル、ダークブルー/ターコイズブルー/レッド/ブラック エナメル
121 「タートル キメラ」クロック	カルティエ バリ	1943年	ゴールド、ブラチナ、シルバー、コーラル、ホワイ ト オニキス、エメラルド、オールド カット ダイヤモンド、ブラック エナメル
122 香水瓶	カルティエ バリ スペシャル オーダー	1926年	ゴールド、ブラチナ、彫刻を施したコーラル(19世紀の中国の嗅ぎタバコ入れ)、パール、ローズ カット ダイヤモンド、エボナイト、ブラック エナメル、マザー オブ パール

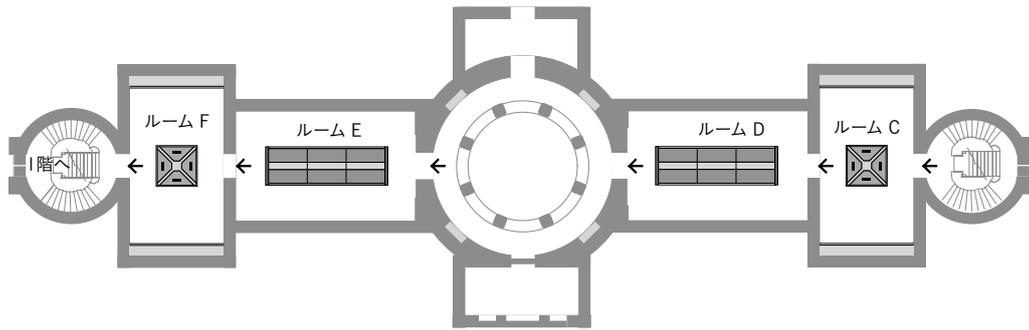
◎ラッキーチャームとブローチ [no.123-159].....

有史以来、護符、つまりお守りという考えによって、生きているもの、死んでいるもの、未加工のもの、精巧に手を加えたもの、動物、野菜、鉱物など、実に様々な魔よけの類が生み出された。17世紀半ばになると、裏側にエナメル加工をし、正面に水晶を据えた記念のための宝石に、愛する人のしるしを入れておくタイプの作品が製作された。この宝石は指輪やペンダント、もしくはリボンに通した指輪の形であることが多く、首や手首のまわりに装って、19世紀になると大量に登場した飾り付きのブレスレットのように、チェーンから提げられる「お守り」の役目を果たした。こうしたお守りのチャームは、ブレスレットやネックレス、もしくは腕時計に取り付けられる指輪の形で製作されて、身に着ける人に魔力をもたらしていた。

カルティエ製作のパラエティ豊かなチャームにはたくさんのストーリーが秘められている。その一例として、小さな電話のチャーム(no.147)があげられるが、これは精巧な作りのミニチュアの作品で、ダイヤモンドがバヴェにセットされ、ダイヤルを回すと、「I Love U(愛しています)」や「Hello(こんにちは)」の文字が現れるようになっている。このように、かわいらしい小さなカルティエのチャームは、個人的な秘密のメッセージを伝える役目も果たしていた。

123 「I Love You」チャーム	カルティエ ロンドン	1935年	ゴールド、ダイヤモンド1個、エメラルド、アメシスト1個、ルビー1個、サファイア1個、ターコイズ1個
124 「ハートのクイーン」チャーム	カルティエ ニューヨーク	1976年頃	ゴールド、多色使いのエナメル
125 「ふくろう」チャーム	カルティエ バリ	1929年	ゴールド、ダイヤモンド、エナメル
126 「バンパー “13.XIII”」チャーム	カルティエ バリ	1927年	ゴールド、ブラック エナメル
127 「荷箱」チャーム	カルティエ バリ	1935年	ゴールド、レッド/ブラック エナメル
128 「ドッグ」チャーム	カルティエ バリ	1931年	ゴールド、ブラック/ホワイト エナメル
129 「ウイスキーとペリエのボトル」チャーム	カルティエ バリ	1934年	エナメル加工されたシルバー、ゴールド
130 「クリスマス」チャーム	カルティエ バリ	1922年	ゴールド、ルビー1個、ダイヤモンド1個、エナメル
131 「サンタクロース」チャーム	カルティエ ロンドン	1937年	ブラチナ、ダイヤモンド、ルビー、シトリン
132 「風船売り」チャーム	カルティエ バリ	1935年	ゴールド、ルビー、サファイア、エメラルド
133 チャーム	カルティエ ロンドン	1934年頃	ゴールド、コーラル
134 「テ キエロ」チャーム	カルティエ バリ	1930年	ゴールド、ダイヤモンド、ブルーエナメル
135 「ハートのエース」チャーム	カルティエ ニューヨーク	1976年頃	ゴールド、レッド エナメル
136 「鍵束1931」チャーム	カルティエ バリ	1930年	ゴールド
137 「パリ37」チャーム ブレスレット	カルティエ バリ	1937年	ゴールド、ルビー、多色使いのエナメル
138 チャーム ブレスレット	カルティエ バリ	1923-37年	ゴールド、ブラチナ、ダイヤモンド、カラーストーン、多色使いのエナメル
139 「グレムリン」チャーム ブレスレット	カルティエ ロンドン スペシャル オーダー	1942-43年	ゴールド、多色使いのエナメル

140	「ブック」チャーム	カルティエ ニューヨーク	1939年	ブラチナ、ルビー、ダイヤモンド
141	「ハート」チャーム	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1929年	ブラチナ、カボション カット ルビー1個、ダイヤモンド
142	「飛行機」チャーム	カルティエ ニューヨーク	1936年	ブラチナ、ダイヤモンド
143	「I love U」チャーム	カルティエ ニューヨーク	1945年	ブラチナ、ダイヤモンド
144	「ハンドバッグ」チャーム	カルティエ ニューヨーク	1936年	ブラチナ、ダイヤモンド、ハート シェイプ ルビー1個、アメシスト1個、サファイア1個、トパーズ1個、ルビー1個、カリブレ カット エメラルド
145	「ホテル ルームドア」チャーム	カルティエ ニューヨーク	1939年	ブラチナ、ゴールド、ダイヤモンド、ルビー、エナメル
146	「ロイヤル プードル」チャーム	カルティエ ニューヨーク	1936年	ブラチナ、ダイヤモンド、ルビー1個
147	「テレフォン」チャーム	カルティエ ニューヨーク	1936年	ブラチナ、ダイヤモンド
148	7 チャーム	カルティエ ニューヨーク	1937年	ブラチナ、ダイヤモンド
149	「スー族」クリップ ブローチ	カルティエ パリ	1938年	ゴールド、シルバー、ローズ カット ダイヤモンド、カボション カット ターコイズ、レッド/アイボリーカラー/ブラック ラッカー
150	「ローズ」クリップ ブローチ	カルティエ パリ	1938年	イエローゴールド、ピンクゴールド、ブラチナ、ラウンド オールドカット ダイヤモンド1個、ローズ カット ダイヤモンド、彫刻を施したコーラル、ブラック エナメル
151	「インディアン」クリップ ブローチ	カルティエ パリ	1938年	ゴールド、シルバー、ローズ カット ダイヤモンド、レッド/アイボリーカラー/ブラック ラッカー
152	「レディバード」イヤークリップ	カルティエ パリ	1936年	ホワイゴールド、ブラチナ、シングル カット ダイヤモンド、コーラル、ブラック ラッカー
153	「ブラッカムーア」モチーフ ペア クリップ ブローチ	カルティエ パリ	1937年	イエロー/ピンクゴールド、シルバー、ローズ カット ダイヤモンド、天然パール、カボション カット ターコイズ/コーラル、ブラック/クリームカラー ラッカー
154	「バタフライ」クリップ ブローチ	カルティエ パリ	1945年	ゴールド、ブラチナ、シングル カット ダイヤモンド、カボション カット エメラルド、彫刻を施したコーラル、ブラック エナメル
155	「バタフライ」クリップ ブローチ	カルティエ パリ	1945年	ゴールド、ブラチナ、シングル カット ダイヤモンド、エメラルド ビーズ1個、カボション カット エメラルド4個、彫刻を施したコーラル、ブラック エナメル
156	「ブラッカムーア」の頭部をモチーフ にしたクリップ ブローチ	カルティエ ロンドン	1958年	ゴールドワイヤー、ブラチナ、プリリアント カット ダイヤモンド、ベア シェイプ サファイア1個、カボション カット ターコイズ、彫刻を施した黒いべっ甲
157	「ブラッカムーア」の頭部をモチーフ にしたクリップ ブローチ	カルティエ パリ	1955年	ゴールドワイヤー、ツイストゴールド、ブラチナ、プリリアント カット ダイヤモンド、カボション カット ターコイズ、彫刻を施した黒いべっ甲
158	あひるの頭部をモチーフにしたブローチ	カルティエ パリ	1953年	ゴールド、ブラチナ、プリリアント カット ダイヤモンド1個、ラウンド シェイプのファセットをつけたエメラルド、オーバル シェイプのファセットをつけたサファイア、プリスター パール、彫刻を施したコーラル
159	バグの頭部をモチーフにしたクリップ ブローチ	カルティエ パリ	1955年	ゴールド、カボション カット シトリン2個(目)、オークル/ブラウン/ブラック/ホワイ エナメル(頭部)、レッド/ブルー/ホワイ/グリーン エナメル(首輪)



2階 | ルームC

◎ホワイト・アール・デコ―ダイヤモンドの宝石群 [no.160-167]

ジュエリーが常にファッションと密接なつながりを持っていることは、カルティエとウォルト(有名なベルエポックのパリのファッションデザイナー)との間の親しい友情関係が証明している。「狂騒の1920年代」に、女性は仕事をし、スポーツを楽しみ、車を運転するなど、それまでと異なるライフスタイルを見出しつつあった。髪はボーイッシュに切り揃えられ、時代の最先端のファッションは繊細な布地で作られたストレートラインのドレスで、格式あるティアラや古典的なネックレス、そして大ぶりのコサージュの飾りとは合わないものだった。当時流行の短いヘアスタイルにぴったり似合う長い耳飾りがおしゃれとされ、重いネックレスの代わりにソートワールが人気を博するようになった。この時期の初めには頻繁に用いられていた真珠も、少しずつダイヤモンドに取って代わられるようになった。

20年代の最後の頃になると、ジュエリーはプラチナと様々なカットのダイヤモンドを使って製作され、白が主流になる。当時最も好まれたのは、1910年頃にルイ・カルティエが開発したバゲット・カットだった。作品によっては、ダイヤモンドと水晶を組み合わせ、重い印象を与えることなく、作品のボリュームを引き出す手法が採られることもあった。こうした作品のなかで最も有名な例は、1932年に女優のグロリア・スワンソンが購入した、プラチナ、ダイヤモンドと水晶のできたふたつのブレスレット(no.240、2階ルームE)である。彼女はこのブレスレットがあまりにも気に入って、自分が出演する映画のなかでも身につけていた。

160	クリップ ブローチ付のバングル	カルティエ ニューヨーク	1936年	プラチナ、ホワイトゴールド、トライアングル カット/ラウンド オールドカット/バゲット カット/シングル カット ダイヤモンド、ブラック ラッカー
161	リング	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1949年	ゴールド、プラチナ、オーバル カット ダイヤモンド1個、ハーフムーン カット ダイヤモンド2個、ラウンド オールドカット/バゲット カット/シングル カット ダイヤモンド、オニキス
162	「ピラミッド」クリップ ブローチ	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1935年	プラチナ、ラウンド オールドカット ダイヤモンド(うち1つは約4.20カラット)、バゲット カット/シングル カット ダイヤモンド
163	バングル	カルティエ パリ	1937年	プラチナ、クッション シェイプ オールド カット ダイヤモンド1個(5.66カラット)、ラウンド オールドカット ダイヤモンド2個(それぞれ3.78カラットと3.58カラット)、スクエア カット/バゲット カット/ラウンド オールドカット/シングル カット ダイヤモンド
164	クリップ ブローチ付のバングル	カルティエ パリ	1934年	プラチナ、オスミオ、バゲット カット/ブリリアント カット ダイヤモンド、彫刻を施したロック クリスタル
165	クレオール風 イヤリング	カルティエ パリ	1935年	プラチナ、ヘキサゴナル カット/スクエア カット/エメラルド カット/バゲット カット/ラウンド オールドカット/シングル カット ダイヤモンド
166	ブレスレット	カルティエ パリ	1930年	プラチナ、バゲット カット/ラウンド オールドカット ダイヤモンド、彫刻を施したロック クリスタル
167	ソートワール	カルティエ パリ (ペンダント)1928年 (チェーン) 1929年		プラチナ、ラウンド オールドカット/シングル カット ダイヤモンド

◎色とボリューム [no.168-172]

1930年代になると、ファッションは女性的な傾向が強くなり、髪も長くウェーブで、ドレスは体のラインに沿ったものになった。ジュエリーもそのトレンドを追って、より大きくなっていった。少しずつカラーストーンがダイヤモンドに取って代わって人気を博するようになっていく。ロンドンでは、カラーストーン

をセットした高価なネックレスの注文数が、パリの注文数を上回るようになった。宝石のなかでも最も人気があったのがルビーやエメラルドであったが、この2種類が高価すぎるとなると、今度はクリアブルーのアクアマリンや、トパーズ、橙黄色のシトリンや、アメシストに取って代わられるようになった。多くの場合、大ぶりの石を変わった形にカットして使い、その結果、アール・デコの末期に特徴的だった幾何学的な線を保つ見事な作品が生み出された。1929年の株式市場の暴落と、その後に続いた経済不況により、それまでは「半貴石」とされていた宝石も使われるようになる。こうした出来事が起こってもなお、カルティエの職人の独創的で大胆なデザインが変わったり失われたりすることはなかった。

ジョージ6世が戴冠式を行った1937年には27個という記録的な数のティアラの注文がなされた。これは、1936年には7個、そして1938年には15個であったことを考えると驚異的な数である。

168	ブレスレット	カルティエ ロンドン スペシャル オーダー	1963年	プラチナ、プリリアント カット/バゲット カット ダイヤモンド、ファセットをつけたオーバル シェイブ ルビー80個(計53.60カラット)
169	ネックレス	カルティエ ロンドン	1936年	プラチナ、バゲット カット/スクエア カット ダイヤモンド、クッション シェイブ /ファセットをつけたオーバル シェイブ ルビー66個(計97.72カラット)
170	ティアラ	カルティエ ロンドン	1937年	プラチナ、ラウンド オールドカット ダイヤモンド、オーバル カット/ファンシー カット アクアマリン
171	ネックレスとブレスレット	カルティエ ロンドン スペシャル オーダー	1936年	プラチナ、ベリドット、ラウンド オールドカット/バゲット カット ダイヤモンド
172	ティアラ	カルティエ ロンドン	1937年	ゴールド、プラチナ、ラウンド オールドカット/バゲット カット ダイヤモンド、八角形のエメラルド カット ダークシトリン1個(62.35カラット)、カリブレ カット/バゲット カット シトリン、六角形のシトリン1個
173	ブレスレット ウォッチ	カルティエ パリ	1938年	ゴールド、シトリン
174	「ハンドカフ」ブレスレット	カルティエ パリ	1939年	ゴールド、円錐形のカボション カット アメシスト、長方形のカリブレ カット シトリン

◎イエローゴールドへの回帰と新たな象徴的名作 [no.175-192].....

1930年代の終わりになると、1933年にカルティエ・ハイジュエリー部門のトップに指名されたジャンヌ・トゥーサン(Jeanne Toussaint)の指揮により、イエローゴールドが再び多く利用されるようになった。世界大恐慌から第二次大戦に至るまでの暗黒の時代、トゥーサンはその豊かな想像力と知性を遺憾なく発揮し、ルイ・カルティエも彼女に全幅の信頼を寄せていた。20年代や30年代のプラチナとダイヤモンドのモノクロのデザインとは決別したトゥーサンは、カルティエのデザイナーたちが完全にオリジナルのジュエリーや腕時計を製作するよう促した。彼女はゴールドをそれまでとは異なる方法で取り扱い、のちに「ガスパイプ」というデザインとして知られる、自由に形が変わる弾力性のあるブレスレットや、大ぶりの磨かれたゴールドのバングルを製作した。ゴールドは土台としてのみ利用されるのではなく、そのものが装飾品、および宝石として利用されるようになったのだ。

1940年代初めには、プラチナは「戦略的」な素材であると宣言されて武器製造のために蓄えられ、さらにはアフリカやアジアからの宝石類は希少価値が高くなっていったため、ゴールドは入手可能な唯一の貴金属となってしまった。

1924年、カルティエの記録のなかで、3つの環—プラチナ、ピンクゴールド、イエローゴールド—が組み合わさった独特な形のリングについて最初の言及がなされる。これらの環は、指に通すと、調和のある一体となり、アメリカでは「トリニティ」という名で知られる。このリングはすぐにフランスの詩人ジャン・コクトーの想像力を捉えた。コクトーはこのリングを手に入れ、パリの社交界で流行させた。このリングの宇宙的でありながら身近な大きさは男女を問わず魅了した。こうしてカルティエのもっとも有名なクリエーションのひとつが誕生した(no.190)。

「ラブ」ブレスレット(no.192)は、ゴールドにねじの頭のモチーフが刻まれたフラットなブレスレット、というそれ自体の単純性こそが雄弁に物語る。完全な忠誠のシンボルとして、ドライバー(ねじ回し)で留めるようになっていた。このブレスレットは30年以上も変わらぬ形であり続ける一方で、1969年にアルド・チプロがニューヨークでカルティエのために構想したオリジナルのモチーフやデザインに触発されたその他数多くの作品が作り出されている。

175	「ブルー」リング	カルティエ パリ	1964年	丸ひだ飾りのついたゴールド、プラチナ、プリリアント カット ダイヤモンド、ルビー ビーズ
176	リング	カルティエ パリ	1946年	丸ひだ飾りのついたゴールド、プラチナ、プリリアント カット ダイヤモンド、ローズ カット ルビー1個(2.95カラット)
177	「ガスパイプ」ブレスレット	カルティエ パリ	1945年	ゴールド、プラチナ、ラウンド オールドカット ダイヤモンド、カボション カット サファイア1個(23.37カラット)、彫刻を施したルビー
178	ブレスレットとイヤークリップ	カルティエ パリ	1938年	ゴールド、ファセットをつけたカリブレ カット サファイア
179	ダブルシャッター カバー付のブレスレット ウォッチ	カルティエ ニューヨーク	1942年	プラチナ、ゴールド、カボション カット ルビー、プリリアント カット ダイヤモンド
180	ブレスレット	カルティエ パリ	1945年	イエロー/レッド ゴールド
181	ミニチュア プリズム クロック	カルティエ パリ	1952年	ゴールド、ロック クリスタル
182	「タービン」ポケット ウォッチ	カルティエ パリ	1943年	ゴールド
183	グリッド プロテクター付防水リストウォッチ	カルティエ パリ	1943年	イエロー/ピンクゴールド、サファイア カボション、レザー ストラップ

184	ベゼルのカーブしたリストウォッチ	カルティエ パリ	1965年	イエロー/ピンクゴールド、レザー ストラップ
185	「クラッシュ」リストウォッチ	カルティエ ロンドン	1967年	イエロー/ピンクゴールド、サファイア カボション、レザー ストラップ
186	「マキシ オーバル」リストウォッチ	カルティエ ロンドン	1969年	ゴールド、サファイア カボション、レザー ストラップ
187	ゴールドバー モデル	カルティエ	1957年	ゴールド
188	「バンブー」ボールペン	カルティエ ニューヨーク	1970年頃	14K ゴールド
189	シングル アクセルのミステリー クロック	カルティエ パリ	1956年	ゴールド、プラチナ、ローズ カット/ブリリアント カット/シングル カット ダイヤモンド、スモーキー クォーツの文字盤、8日巻ムーブメント
190	「トリニティ」プレスレット	カルティエ	1977年	イエロー/ピンク/ホワイトゴールド
191	「ネイル」バングル	カルティエ ニューヨーク	1971年	ゴールド
192	「ラブ」プレスレット	カルティエ ニューヨーク	1970年	ゴールド
193	ネックレス	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1928年	プラチナ、オールドカット/ローズ カット ダイヤモンド(チェーンとリンク)、クッションシェイプ イエロー ジルコニア、ホワイト ジルコニア4個、ホワイト トパーズ13個、シンセティック ルビー2個、スモーキー クォーツ1個、シトリン1個

2階 | ルームD

194	ティアラ	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1907年	プラチナ、ラウンド オールドカット ダイヤモンド、天然パール、ミルグレイン セッティング
195	「スクロール」ティアラ	カルティエ パリ	1910年	プラチナ、クッション シェイプ ダイヤモンド1個、ラウンド オールドカット ダイヤモンド、ミルグレイン セッティング
196	スタマッカー(胸飾り) ブローチ	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1912年	プラチナ、ラウンド オールドカット/ローズ カット ダイヤモンド、ミルグレイン セッティング
197	ブローチ ペンダント	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1909年	プラチナ、ベア シェイプ/ラウンド オールドカット ダイヤモンド、ミルグレイン セッティング
198	ココシュニック ティアラ	カルティエ パリ	1908年	プラチナ、ベア シェイプ ダイヤモンド15個(計約19カラット)、ラウンド オールドカット ダイヤモンド、天然パール、揺れるベア シェイプ ダイヤモンドは“ミュゲ(すずらん)”セッティング
199	「2本のフェーン(シダ)の葉」ブローチ	カルティエ パリ	1903年	プラチナ、ラウンド オールドカット ダイヤモンド、ミルグレイン セッティング
200	リリー スタマッカー(胸飾り) ブローチ	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1906年	プラチナ、ラウンド オールドカット/ローズ カット ダイヤモンド、ミルグレイン セッティング
201	ティアラ	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1914年	黒色のスティール、プラチナ、ベア シェイプ/ラウンド オールドカット/ローズ カット ダイヤモンド、ファセットをつけたルビー、カリブレ カット ルビー
202	ペンダント	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1923年	プラチナ、シングル カット ダイヤモンド、サファイア カボション2個(うち1個は顧客が持ち込んだもので121.02カラット)、彫刻を施したエメラルド1個(32.20カラット)、彫刻を施したエメラルド ビーズ1個(16.82カラット)
203	「サントス」リストウォッチ	カルティエ パリ	1915年	イエロー/ピンクゴールド、サファイア カボション、レザー ストラップ
204	バンテール パターン リストウォッチ	カルティエ パリ	1914年	プラチナ、ピンクゴールド、ローズ カット ダイヤモンド、オニキス、モワレ ストラップ
205	「モデルA」ミステリー クロック	カルティエ パリ	1921年	プラチナ、ゴールド、ロック クリスタル、オニキス(土台)、ローズ カット ダイヤモンド、ホワイト エナメル
206	大型の「ポルティコ」ミステリー クロック	カルティエ パリ	1923年	プラチナ、ゴールド、文字盤、柱、およびピリケン像はロック クリスタル、ローズ カット ダイヤモンド、カボション カット コーラル、オニキス、ブラック エナメル
207	パウダー ボックス	カルティエ ロンドン	1930年	シルバー、銀メッキ、ラッカー
208	錦織のケース付の櫛	カルティエ パリ	1928年	ゴールド、プラチナ、ローズ カット ダイヤモンド、エメラルド1個、カボション カット ルビー、ブラック エナメル、べっ甲
209	ヴァニティ ケース	カルティエ パリ	1930年	シルバー、ラッカー、ネフライト、マザー オブ パール、べっ甲、翡翠
210	封筒の形のシガレット ケース	カルティエ ロンドン	1932年	ゴールド、レッド/ホワイト/ブラック エナメル
211	シガレット ケース	カルティエ パリ	1931年	プラチナ、バゲット カット ダイヤモンド
212	ヴァニティ ケース	カルティエ ニューヨーク	1924年頃	ゴールド、プラチナ、ホワイト エナメルの縞模様、ホワイト/ブラック エナメル、ローズ カット ダイヤモンド
213	「矢筒」ピン ブローチ	カルティエ パリ	1949年	イエロー/ピンクゴールド、ホワイトオニキス、カリブレ カット ルビー、バゲット カット ダイヤモンド1個、ローズ カット ダイヤモンド
214	シガレット ケース	カルティエ パリ	1949年	ゴールド、プラチナ、ブラック エナメル、コーラル、マザー オブ パール、バゲット カット ダイヤモンド(1929年カルティエ パリ製のヴァニティ ケースを作り変えたもの)

215	クレオール風のイヤークリップ	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1954年	ゴールドワイヤー、ファセットをつけたサーキュラーカットサファイア、エメラルド、ルビー
216	ブレスレット	カルティエ パリ	1924年	ゴールド、プラチナ、ラウンド オールドカット/シングルカット/ローズカットダイヤモンド、彫刻を施したコーラル、マザーオブパール、ブラックエナメル
217	ブレスレット	カルティエ パリ	1925年	プラチナ、スクエアカット/ラウンド オールドカット/シングルカットダイヤモンド、コーラル、オニキス
218	ブレスレット	カルティエ パリ	1922年	プラチナ、シングルカットダイヤモンド、エメラルドビーズ、シリンドラーシェイブコーラルビーズ、オニキス
219	ブレスレット	カルティエ パリ	1922年	プラチナ、シングルカットダイヤモンド、エメラルドビーズ、シリンドラーシェイブオニキス
220	封筒付ヴィジティングカード	カルティエ ニューヨーク	1927年	ゴールド、ホワイト/レッド/ブラックエナメル
221	ブローチ	カルティエ ロンドン スペシャル オーダー	1933年頃	プラチナ、ラウンド オールドカットダイヤモンド、ファセットをつけたカリブレカットサファイア、ファセットをつけた長方形のアメシスト1個

2階 | ルームE

222	「解き放たれた鳥」ブローチ	カルティエ パリ	1944年	ゴールド、プラチナ、ローズカットダイヤモンド、カボションカットサファイア1個、ラピスラズリ、コーラル
223	シガーテーブルボックス	カルティエ パリ	1951年	イエロー/ホワイトゴールド、サーキュラーカットサファイア、カリブレカットルビー
224	ジャン・コクトーのアカデミー会員の剣	カルティエ パリ	1955年	ゴールド、シルバー、エメラルド、ルビー、ダイヤモンド、象牙、オニキス、ブルーエナメル、スチールの刃
225	プリズムクロック	カルティエ パリ	1955年頃	ゴールド、プラチナ、ブリリアントカットダイヤモンド、天辺にブリリアントカットダイヤモンドで装飾したリュース *グレース公妃、モナコ公室蔵
226	「めんどり」ブローチ	カルティエ パリ	1957年	浮き出し模様のゴールド、プラチナ、ブリリアントカットダイヤモンド、カボションカットエメラルド(目)、マザーオブパール、パール、コーラル *グレース公妃、モナコ公室蔵
227	「鳥」ブローチ	カルティエ パリ	1955年頃	浮き出し模様のゴールド、プラチナ、ブリリアントカットダイヤモンド *グレース公妃、モナコ公室蔵
228	「ブードル」ブローチ	カルティエ ロンドン	1960年頃	彫刻を施したゴールド、プラチナ、カボションカットルビー(目)、カリブレカットルビー(首輪)、パール、オニキス(鼻) *グレース公妃、モナコ公室蔵
229	「鳥」ブローチ	カルティエ ロンドン	1956年	彫刻を施したゴールド、ゴールドワイヤー、エメラルド(目)、パール、コーラルカボション1個 *グレース公妃、モナコ公室蔵
230	エンゲージメントリング	カルティエ パリ	1956年	プラチナ、エメラルドカットダイヤモンド1個 10.47カラット、バゲットカットダイヤモンド2個 *グレース公妃、モナコ公室蔵
231	3つのクリップブローチセット	カルティエ パリ	1955年	プラチナ、ゴールド、ブリリアント/バゲットカットダイヤモンド、ルビーカボション3個(計約49カラット) *グレース公妃、モナコ公室蔵
232	ブレスレット	カルティエ パリ	1955年	プラチナ、ブリリアント/バゲットカットダイヤモンド *グレース公妃、モナコ公室蔵
233	ネックレス	カルティエ パリ	1953年	プラチナ、ブリリアント/バゲットカットダイヤモンド(計約64カラット)
234	月面着陸船モデルの精巧なレプリカ	カルティエ パリ	1969年	イエロー/ホワイトゴールド、ラッカー、レッド/ホワイト/ブルーエナメル
235	パルム・オブ・ザ・パルムズ	カルティエ パリ	1997年	ゴールド
236	「ワールド ツアー 1989-90」ブローチ	カルティエ ロンドン	1989年	イエロー/ホワイトゴールド、ブリリアントカットダイヤモンド、カボションカットルビー
237	ソートワール	カルティエ ニューヨーク スペシャル オーダー	1925年	プラチナ、シングルカットダイヤモンド、彫刻を施した六角形のエメラルド1個(85.60カラット)、彫刻を施したエメラルドビーズ50個(計約517カラット)、天然パール
238	「トゥッティフルッティ」ネックレス	カルティエ パリ スペシャル オーダー	1936年	プラチナ、ホワイトゴールド、ダイヤモンド、ブリオレットカットサファイア13個、彫刻を施したサファイア2個、サファイアビーズ/カボション、彫刻を施したエメラルド、エメラルドビーズ/カボション、彫刻を施したルビー、ルビービーズ/カボション(1963年に一部改変)
239	「ハロー(光輪)」ティアラ	カルティエ ロンドン	1934年	プラチナ、ラウンド オールドカット/バゲットカットダイヤモンド
240	ブレスレット	カルティエ パリ	1930年	プラチナ、バゲットカット/ラウンド オールドカット/シングルカットダイヤモンド、半円形のロッククリスタル30個、ロッククリスタルビーズ60個
241	「ローズ」クリップブローチ	カルティエ ロンドン	1938年	プラチナ、バゲットカット/ラウンド オールドカット/シングルカットダイヤモンド
242	リストウォッチ	カルティエ ロンドン	1924年	プラチナ、イエロー/ピンクゴールド、ローズカットダイヤモンド、ブラックエ

243	「バンテール」クリップ ブローチ	カルティエ バリ	1949年	プラチナ、ホワイトゴールド、シングル カット ダイヤモンド、ベア シェイプ イエローダイヤモンド2個(目)、カボション カット カシミール サファイア1個(152.35カラット)、サファイア カボション(バンテールの斑点)
244	ビブ ネックレス	カルティエ バリ スペシャル オーダー	1947年	18Kと20Kのコイル状ゴールド、プラチナ、ブリリアント カット/バゲット カット ダイヤモンド、ハートシェイプのファセットをつけたアメシスト1個、エメラルド カット アメシスト27個、オーバルシェイプのファセットをつけたアメシスト1個、カボション カット ターコイズ
245	「タイガー」イヤールリッ	カルティエ バリ スペシャル オーダー	1961年	ゴールド、シングル カット/ブリリアント カット ダイヤモンド(色は濃いイエローからほぼ無色)、マークス シェイプ エメラルド(目)、ファンシー シェイプ オニキス(ストライプ)

2階 | ルームF

◎花と動物、カルティエの自然主義 [no.246-272]

1933年、ルイ・カルティエは、デザイナーを指揮してカルティエの完璧さの水準を維持するというきわめて重要な役目をジャンヌ・トゥーサンに与えた。トゥーサンの創造性一人々は「トゥーサン趣味」とさえ呼んだ一によって、花や動物たちは素晴らしい想像の世界の一部となり、そのデザインは様式化されたアール・デコからは離れた、自然に対する新しい感受性の宣言となった。1930年代には、花のモチーフはダイヤモンドを散りばめたクリップブローチとなり、線やボリュームは自然とのさらなる親近性を示していた。カルティエの工房は、多様なカットの宝石と様々な表現技術を用い、繊細な構造の咲きこぼれる花々を作り始めた。

トゥーサンは、「キメラ」のモチーフにも新しい息吹を吹き込み、造形的な多義性を強調することでこの神話的生物の本質に力強い表現を与えた。

246	クリップ ブローチ付のブレスレット	カルティエ バリ	1939年	ホワイトゴールド、プラチナ、ブリリアント カット ダイヤモンド、ベア シェイプ アクアマリン
247	「オーキッド」ブローチ	カルティエ バリ スペシャル オーダー	1937年	ホワイトゴールド、ファセットをつけたファンシー カット アメシスト/アクアマリン、石の間にはパールブルー/モーブカラーエナメルのスタッド
248	「フラワー」クリップ ブローチ	カルティエ バリ スペシャル オーダー	1941年	プラチナ、ホワイトゴールド、ラウンド オールドカット/シングル カット ダイヤモンド
249	「フラワー」クリップ ブローチ付のブレスレット	カルティエ バリ	1931年	プラチナ、ホワイトゴールド、カットコーナード スクエア シェイプ ダイヤモンド1個(2.34カラット)、ラウンド オールドカット/シングル カット/ローズ カット ダイヤモンド
250	「フラワー」クリップ ブローチ付のバングル	カルティエ バリ スペシャル オーダー	1939年	プラチナ、ホワイトゴールド、クッション シェイプ ダイヤモンド1個(約4.50カラット)、ブリリアントカット/ラウンド オールドカット ダイヤモンド
251	「パーム」クリップ ブローチ	カルティエ バリ スペシャル オーダー	1942年	プラチナ、ホワイトゴールド、バゲット カット/ラウンド オールドカット/シングル カット ダイヤモンド
252	「カワセミ」クリップ ブローチ	カルティエ バリ	1941年	プラチナ、ゴールド、ブリリアント カット/シングル カット ダイヤモンド、彫刻を施したエメラルド2個(計17.66カラット)、ファセットをつけたカリブレ カット サファイア、カボション カット ルビー2個
253	「ローレル」クリップ ブローチ	カルティエ バリ	1943年	ゴールド、プラチナ、ブリリアント カット ダイヤモンド、カボション カット サファイア4個
254	「バード」クリップ ブローチ	カルティエ バリ	1944年	ゴールド、プラチナ、ブリリアント カット/シングル カット ダイヤモンド、カボション カット エメラルド4個(計14.42カラット)、ファセットをつけたオーバルシェイプ サファイア、ナヴェット シェイプ カボション カット ルビー2個
255	「羽飾り」ブローチ	カルティエ バリ	1942年	ゴールド、プラチナ、ブリリアント カット ダイヤモンド、カボション カット エメラルド9個
256	「バード」クリップ ブローチ	カルティエ バリ	1944-1947年	溝をつけたゴールド、プラチナ、ラウンド オールドカット/ブリリアント カット/シングル カット ダイヤモンド、カボション カット ルビー1個(43.20カラット)、カボション カット エメラルド1個
257	「ブルー ローズ」クリップ ブローチ	カルティエ バリがカルティエ ニューヨークのために製作	1959年	プラチナ、ホワイトゴールド、ブリリアント カット/バゲット カット ダイヤモンド、ファセットをつけたカリブレ カット サファイア
258	「ドラゴンフライ」クリップ ブローチ	カルティエ バリ	1953年	プラチナ、ゴールド、ファンシー カット/エメラルド カット/ブリリアント カット/シングル カット/バゲット カット/ローズ カット ダイヤモンド、カボション カット エメラルド1個、ファセットをつけたラウンド カット ルビー2個、カリブレ カット ルビー10個
259	「パームツリー」クリップ ブローチ	カルティエ バリ スペシャル オーダー	1957年	プラチナ、ホワイトゴールド、ブリリアント カット/バゲット カット ダイヤモンド、クッション シェイプ ビルマル ルビー7個(計23.10カラット)

260	「開閉式」フラワー クリップ ブローチ	カルティエ バリ	1969年	ゴールドワイヤー、ブラチナ、ブリリアント カット ダイヤモンド、ファセットをつけたラウンド カット エメラルド、サファイア、ルビー
261	「開閉式」フラワー イヤー クリップ	カルティエ バリ	1967年	ゴールドワイヤー、ブラチナ、ブリリアント カット ダイヤモンド、ファセットをつけたラウンド カット ルビー、エメラルド、サファイア
262	「キメラ」バンダ	カルティエ バリ スペシャル オーダー	1954年	ブラチナ、ホワイトゴールド、マーキス カット/ブリリアント カット ダイヤモンド、彫刻を施したコーラル ルビーズ、パフ トップ コーラル カボション
263	「双子のキメラ」バンダ	カルティエ バリ	1960年	イエロー/ホワイトゴールド、ブラチナ、マーキス カット/バゲット カット/ブリリアント カット ダイヤモンド、ファセットをつけたラウンド カット ルビー、ファセットをつけたラウンド カット/オーバル カット エメラルド
264	「キメラ」バンダ	カルティエ バリ	1980年	ゴールド、ブリリアント カット ダイヤモンド、ブリリアント カット/シングル カット イエローダイヤモンド、ベア シェイプ エメラルド(目)
265	「双子のキメラ」の頭部 バンダ	カルティエ バリ	1957年	イエロー/ホワイトゴールド、ブリリアント カット/バゲット カット/シングル カット ダイヤモンド、ファセットをつけたオーバル カット ルビー10個
266	「ドルフィン」バンダ	カルティエ バリ スペシャル オーダー	1969年	彫刻を施したゴールド、ブリリアント カット ダイヤモンド1,028個(計33.73カラット)、ベア シェイプ エメラルド2個(目)
267	「リザード」バンダ	カルティエ バリ	1972年	ゴールド、ブリリアント カット イエローダイヤモンド、ブリリアント カット/ベア シェイプ ダイヤモンド、ファセットをつけたラウンド カット エメラルド、ファセットをつけたラウンド カット サファイア、カボション カット ルビー2個(目)
268-1	「バンテール」バンダ	カルティエ バリ	1958年	ブラチナ、ホワイトゴールド、ブリリアント カット/シングル カット ダイヤモンド、カボション カット サファイア、マーキス カット エメラルド、グリーンガーネット、オニキス
268-2	「バンテール」クリップ ブローチ	カルティエ バリ	1958年	ブラチナ、ホワイトゴールド、ブリリアント カット/シングル カット ダイヤモンド、カボション カット サファイア、マーキス カット エメラルド、グリーンガーネット、オニキス
268-3	「バンテール」ジャボ ピン	カルティエ バリ	1957年	ブラチナ、ホワイトゴールド、ブリリアント カット/シングル カット ダイヤモンド、カボション カット サファイア、マーキス カット エメラルド、グリーンガーネット、オニキス
269	「タイガー」プレスレット	カルティエ バリ	1967年	ゴールド、ブリリアント カット/シングル カット イエローダイヤモンド、ベア シェイプ エメラルド2個(目)、ファンシー シェイプ オニキス(縞模様と鼻)
270	「タイガー」リング	カルティエ バリ	1982年	ゴールド、シングル カット イエローダイヤモンド、シングル カット ダイヤモンド、ベア シェイプ エメラルド2個(目)、ファンシー シェイプ オニキス(縞模様と鼻)
271	「パロット」クリップ ブローチ	カルティエ バリ	1969年	ゴールド、ブラチナ、ブリリアント カット イエローダイヤモンド、ブリリアント カット/バゲット カット ダイヤモンド、ファセットをつけたオーバル カット エメラルド、彫刻を施したコーラル
272	「ローズバッド」クリップ ブローチ	カルティエ バリ	1965年	イエロー/ピンクゴールド、ブリリアント カット イエローダイヤモンド、ブリリアント カット/シングル カット ダイヤモンド、ファセットをつけたラウンド カット エメラルド、エメラルドの間にはグリーン エナメル スタッド
273	イブニング バッグ	カルティエ ニューヨーク	1957年	ゴールド、ブラチナ、ラウンド カット/バゲット カット/ブリリアント カット ダイヤモンド、彫刻を施したコーラル、カボション カット エメラルドとサファイア、ブラック ベルベット
274	「クロコダイル」ネックレス	カルティエ バリ スペシャル オーダー	1975年	ゴールド、ブリリアント カット イエローダイヤモンド1,023個(計60.02カラット)、ナヴェット シェイプ カボション カット エメラルド2個(目)、エメラルド1,060個(計66.86カラット)、カボション カット ルビー2個(目)
275	「スネーク」ネックレス	カルティエ バリ スペシャル オーダー	1968年	ブラチナ、ホワイト/イエローゴールド、ブリリアント カット/バゲット カット ダイヤモンド2,473個(計178.21カラット)、ベア シェイプ エメラルド2個(目)、グリーン/レッド/ブラック エナメル
276	「スネーク」イヤー クリップ	カルティエ バリ スペシャル オーダー	1971年	イエロー/ピンクゴールド、ターコイズカラー エナメル、オーバル カット ルビー2個、ローズ カット ダイヤモンド2個